



第37号

港北区体育指導委員
連絡協議会広報紙

活き生き体指

KOHOKU

No.37

平成22年3月31日発行

発行者

港北区体育指導委員連絡協議会

編集

港北区体指広報委員会

事務局

横浜市港北区大豆戸町26-1

横浜市港北区役所地域振興課内

☎ 045-540-2241

FAX 045-540-2245

第25回 港北駅伝大会

平成22年1月10日実施



第25回 港北駅伝大会 太尾地区駅伝チーム監督 野本征治

第25回港北駅伝大会が平成22年1月10日(日)日産フィールド小机新横浜公園コースで開催されました。今年の目標は10年連続優勝で、町会の皆さん上げての気持ちの一つになり大変盛り上がりました。スタッフ一同かなりの重圧を感じました。しかし今までの戦績を考えると5~6分の差が有り負けるわけがないと思い、選手の皆さんには今迄通りの戦いで十分、特別な要求はしませんでした。

今回会場の変更で選手の走行に問題がないか非常に心配でした。特に小学生(男女の3年、6年)の部の選手が気に入り練習の中で現地に行つての試走をくり返し選手の皆さんには各自コースの内容を確認してもらいました。

総体的に見て小学生の選手は連続優勝には比較的無頓着で全力疾走していた様に思います。むしろスタッフ一同はじめ大人の選手がコンディション作りに100%ではなかった様に思います。

しかし結果は優勝で10年連続優勝の記録を作ることが出来ましたが、1分30秒前後の差に短縮された事にびっくりしました。この結果を真摯に受け止めチーム編成を皆さんと話し合いたと思います。Aチームが優勝、Bチームが3位、Cチームが13位と大健闘でした。これもスタッフの皆さんの協力と2ヶ月以上の練習に依るチームワークの育成と実力強化に依り達成出来たものと思います。

選手の皆さんに感謝です。区間賞2個もその成果だと思います。今年も多くの人に助けていただきました。地域の皆さんどうもありがとうございました。来年もがんばりたいと思います。



▲10連覇を達成した太尾地区のメンバー



▲最終ランナーが歓喜のゴール!!

第25回 港北駅伝大会にて 網島地区体育指導委員 山上 幸夫

前回記念大会でのハプニングから、「猛省とリベンジ」を胸に秘め、私としては「背水の陣」で臨んだ大会でもありました。しかし、その思いも「インフルエンザ対策」にかき消され、選手選考と共に補欠捜しに頭を痛めました。私自身も「監督は走れない」というルールにより、苦渋の選択にて補欠登録にまわりました。ここで体指の大谷さんには、快く監督を引き受けていただいた経緯があり大変感謝しています。幸にも昨年からの2チーム参加に伴い選手らの友人・知人の人脈が広がり、なんとかチームを構成できました。網島フェスティバルの持久走の上位者を主力メンバーに、11月1日より練習会・記録会などを交え計24回開催しました。年代も走る距離もバラバラの選手の練習メニューは、当日参加メンバー次第の即興メニューです。メニューの重点

は、いかに楽しく・カッコ良く走るか、「フォームと呼吸」にだけはこだわる内容です。特に小学生と女性主体の反復練習が基本となりました。

今大会が3度目のコーチングで、区間賞は1年目がゼロ、2年目が2名、今回は4名と確実にレベルアップしています。この4名がA・Bチームに分散したことは悔やまれますが、次回のチーム編成への宿題としてよい材料となりました。そして選手・スタッフからは「前が見えましたね」の声が掛かるなど太尾チームさんの「ストップ11連覇」を宿命と感じるところでもあります。大会後には、選手・スタッフにお配りするお手製の「ミニアルバム」で、「轡を継ぐ駅伝の楽しさ」を2度感じてもらいつつ、大会のますますの盛況に貢献できればと思っております。



▲来年は優勝を目指して頑張るぞ!!



▲監督手作りの「ミニアルバム」

第25回 港北駅伝大会記録

	①連合町内会の部	②一般男子の部	③高校男子の部	④一般・高校女子の部	⑤中学男子の部	⑥中学女子の部
優勝	太尾連合(A) 1°35' 23"	TTT 1°23' 02"	横浜商大高校 1°20' 44"	白鵬女子高等学校B 1°29' 06"	樽町中陸上部A 0°57' 22"	樽町中陸上部A 1°07' 16"
準優勝	網島連合A 1°36' 56"	SUIRAN-R 1°27' 22"	横浜高校B 1°20' 51"	白鵬女子高等学校A 1°31' 11"	大綱中陸上競技部A 0°58' 35"	大綱中陸上競技部A 1°08' 06"
3位	太尾連合(B) 1°39' 56"	ハクラクAC 1°27' 58"	横浜高校A 1°21' 04"	元石川高校 1°37' 40"	日本大学中学校A 1°01' 17"	高田中学校陸上部 1°13' 04"
4位	新羽さわやか 1°41' 38"	ACcrane 1°28' 53"	川崎市立橘高等学校 1°23' 57"	鶴見高校 1°37' 57"	神奈川中A 1°01' 19"	日本大学中学校 1°13' 09"
5位	網島連合B 1°41' 39"	ACY 1°29' 47"	慶應高校A 1°24' 32"	日大高校 1°42' 03"	慶應義塾普通部A 1°03' 35"	高中バスケ部A 1°14' 52"
6位	篠原A 1°41' 57"	eA港北メンバーズ 1°31' 15"	鶴見高校A 1°25' 27"	川崎市立橘高等学校 1°44' 37"	高田中学校陸上部 1°03' 36"	新田中バスケ部A 1°15' 40"

区間賞 ~連合町内会の部~

区間	距離 (km)	氏名	チーム名	記録	区間	距離 (km)	氏名	チーム名	記録
1区	4	吉野 文章	大曽根B	15分00秒	6区	3	山端 百合恵	網島連合A	11分37秒
2区	1	柳下 香	太尾連合(A)	4分38秒	7区	4	新田 龍宏	網島連合A	13分38秒
3区	3	松木 健太	網島連合B	12分14秒	8区	1	尾形 梓	網島連合B	4分08秒
4区	4	大高 一彰	新羽さわやか	15分21秒	9区	3	岩岡 千尋	あすなろ連合	11分14秒
5区	1	奥谷 祐一郎	太尾連合(B)	4分23秒					

第23回 港北区グラウンドゴルフ大会

平成 22 年 3 月 7 日 実施

優勝をホームグラウンドで 樽町地区 小口 照久

このたびの大会で、我々樽町地区が地区優勝の栄誉を戴きました。実を言いますと、今回一回目のⅢコースではまあまあと思われる点数が出ましたが、午後のⅠコースでは大きく点数を稼いでしまいました『これでは優勝の希望等持てないね…』と仲間達と話していました。

私達樽町のチームにとっては、この公園はホームグラウンドであると共に、年間を通して、週一回くらい練習をしている所ですので、他のチームの方から見れば、当然の結果と思われるでしょうが、なかなかそう簡単ではありません。晴天が続いた日は硬くなって、軽く打ってもぐんぐん延びてしまうし、雨の後には湿っていて、思い切り打ってもなかなかホールに届かなかったり、事前の天候によって打ち加減が変わります。また前日に野球が行なわれたり、サッカーのスパイク等で掻き回した後等、砂の浮き方が違ってきますので、毎回同じ様にはいきません。



▲樽町地区優勝

でも、ホームグラウンドには違いありませんので、その結果が出たのかなとも思います。これからも健康と仲間作りの為にグラウンドゴルフを続けて行こうと思っています。

優勝チーム感想 鶴ねんクラブ桜組 鈴木 貞夫

「1週間の延期によるメンバー変更が多く、受付が手間取って」のマイクの声。皆さん予備日が設定されていても忙しいんだと思う一方で、わがチームは予定も無く（ホールインワン2～3個出せば上位に）と密かにとらぬ狸で他チームを観戦。結構ホールインワンが出ているぞと長い時間を待ちながら、今か今かと腕をぶしていました。そして第一試合目硬い顔のままスタート。やはり飛ばせず、寄せられずで133に終わりました。「ゲームは速いし良くまとまっていますよ」と審判に誉められましたが、1試合終わった時点で数チームの良い成績の情報が聞こえ、（ホールインワンが出せなければ、勝ち目は無い）と2ゲーム目が始まりました。1ホール目3, 5, 4, 3, 3, 2とパーにも収まらず、もう駄目かの4ホール目に待望かつ唯一のホールインワンが、そして後がない8ホールへ、4, 3, 4, 2, 3, 2と不発！それでも合計265になりましたがこれでは昨年より3点もオーバーと諦め、表彰式に一応並びました。そして「優勝、鶴ねんクラブ桜組」のコールがあり、オーっ、すごい、ヤッター！とその喜びは倍加され、メンバー6人中5人はベストではありませんでしたが、日頃の「楽しく一日を過ごす」の合言葉で勝つことができました。心よりありがとうございます。

グラウンドゴルフ大会結果

チーム対抗成績

優	勝	鶴ねんクラブ桜組	265
準	優	網島 A	267
3	位	あすなろラビッツ	273

地区対抗成績

優	勝	樽町	564
準	優	網島	565
3	位	太尾	570

男性ハイスコア賞

樽町第三親和会A組	羽鳥 倉治	35
-----------	-------	----

女性ハイスコア賞

大曾根GGクラブB	昼間 艶子	39
-----------	-------	----

ブービー賞

西町	高田 直美	75
----	-------	----

ホールインワン賞

網島 B	志子田 修治
英二シューターズ!	土屋 友香
菊名北 C	小泉 清
城郷矢の根 B	山下 二男

平成21年度 横浜市体育指導委員大会

平成22年2月14日実施

25年表彰雑感 大曽根地区 蓮田 雅弘

平成21年度横浜市体育指導委員大会において25年表彰を受けさせていただきました。有難うございます。

26年前、地域スポーツに関わりたいたいと思い少年サッカーのお手伝いをしていたところ、体育指導委員に欠員が出来たからやってみないかとの誘いを受けました。月1回の会合と僅かの動員があるだけとの甘言を信じて引き受けることに決めたのでした。これを信じたのが良かったのか？悪かったのか？当時大曽根地区は区の会長だった曾根氏をはじめ錚錚たるメンバーでした。最初に教えられたのが「体育指導委員は市の非常勤嘱託公務員であることを心しろ。」ということでした。公としての立場に縁の無かった私としては身が締まる思いがしたものでした。地区においては「大曽根 A S ナンバーワン」の気持ちを持って活動しろ！との薫陶を受けました。健民祭の立案、企画、運営。祭礼、盆踊りの手伝い。マラソン大会、親子ウォークラリーなどの運営に携わることで地域のスポーツコーディネーターとの勉強会をさせられました。



▲林文字子市長から表彰をうける受賞者

区の行事としては湯河原での宿泊研修、群馬県にあった赤城野外活動施設、伊豆の臨海施設等への見学会などが思い出されます。ニュースポーツの研修なども記憶に新しいものです。これからも温故知新の気持ちを忘れず日々活動する決意です。

表彰区分	氏名
10年表彰	小川 康雄
15年表彰	山中 明義
	奈良 知幸
	宮田 重夫
	萩生田 昭司
20年表彰	高橋 健二
25年表彰	松本 勝彦
	蓮田 雅弘
	宮田 延雄
区会長退任	加藤 修

平成21年度 港北区スポーツシンポジウム

平成22年2月27日実施

日吉地区体育指導委員 田邊 泰之

バンクーバーでの女子フィギュアスケートの興奮も冷めやらぬ、2月27日に『港北区スポーツシンポジウム』が開催されました。

体指の蓮田副会長の開会宣言で始まり、嶋村体育協会会長、松本体指会長、武田副区長の挨拶、鈴木太極拳協会事務局長の体育功労賞の表彰、そして講演会と続きました。

講演会では、まず、講師のギターの伴奏での参加者全員で合唱を行なうという一風変わった趣向でしたが、この時節にあった選曲で会場は和やかな雰囲気となり、そのあとの落語も笑いの連続で、非常に楽しく過ごすことができました。

樽町在住の講師・立川志隆さんの楽しい音楽と巧妙な話術で盛り上がり第一部が終了しました。

第二部の懇親会でも、東京音頭が飛び出すなど、各スポーツ協会と各地区体指の報告やアピールで大



▲立川 志隆「音楽と落語の宅配便」の様子

いに盛り上がりました。

おりしもオリンピック開催で『日本』を意識した時期でありましたが、今年度から体指となった私は、今回のシンポジウムを通じ、横浜『港北』を改めて意識しました。スポーツを通じて、この港北を盛り上げることができる活動をしよう、思いを新たにすることができました。

編集後記

広報委員長を拝命して、早や1年が過ぎようとしています。各地区から13名の広報委員が選出され、体育指導委員の活動を広報誌「活き生き体指」を通じ、港北区内外に広く発信しております。

さて、我々を取り巻くキーワードには事欠きませんが、例えば「地球温暖化防止」「異常気象」「雇用不安」「不法所得」とどれをとっても活き生きとボランティア活動ができる環境ではない事に苛立ちを感じる今日この頃です。この様なときこそ、春來の花に向かい桜花爛漫の酒杯を傾ける時、何かしら皆なのために役立っているという小さな自己満足が湧き、また頑張るか…と気を持ち直す日々です。

(追記)次回広報誌は、「一目でわかる各地区の年間行事」を特集します。保存版として御活用下さい。(広報委員長 仁司 信夫)